This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images,
Please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

40c072:31 A MAR 1994

(54) ELEVATOR GATE DEVICE (11) 6-72681 (A) (42) 15-3:1994 (19) JP (21) Appl. No. 4-251988 (22) 28.8:1992 (71) MITSUBISHI ELECTRIC CORP (72) NORIHISA YAMASHITA(2) (51) Int. CP. B66B13 30

PURPOSE: To provide an elevator gate device wherein a smoke interrupting means is provided around a door.

CONSTITUTION: A device provides a door 5 formed with a space in a frame unit 5 of a gate 4 to open close it and a tilt smoke interrupting plate 15 of separating a door stop end side of the door 5 from the frame unit 5 more than a door pocket end side along an edge part along a direction of opening closing the door 5 to tilt relating to an opening closing route. The device provides a contact plate 17 brought into contact with the tilt smoke interruping plate 15 at the time of fully ricesing the door 5 along an edge part opposed to the tilt smoke interrupting plate 15 of the frame unit 5. The device provides an orthogonal smoke interrupting plate 12 along an orthogonal edge part orthogonal to a direction of opening closing the door 5 in the door pocket end side. arranged so as to come into contact with an edge part outside of the frame unit 5 at the time of fully closing the door 6. The space between the frame unit 5 and the door 6 is closed through the tilt smoke interrupting plate 15 and the orthogonal smoke interrupting plate 12. Accordingly, by the device which can be simply constituted and manufactured with the small expense, smoke interrupting action is obtained in the door of the gate at the time of a building fire.



(12) 公開特許公報(A)

。 (11)特許出類公開語号

特開平6-72681

(福)公開日 平式6年(1994)3月15日

(51) Int.Cl.⁴

B 6 6 B 13/30

進列記号 庁内盘理論号 R 9243-3F

Fί

技術表示箇所

(21)出頭番号

持頭型4-251988

(22)出類日

平式4年(1992) 3月28日

(71)出額人 000006013

江臺道境快武会社

東京都市代田区丸の内二丁目2番3号

(72) 全明是一山下 意久

稲沢市支町1番地 稲菱デクニカ株式会社

審定請求 未請求 請求項の数2(全 6 頁)

(12) 強調器 上本 知漢

韶识市逐时上番地 三逐電景株式会社紹识

製作新四

(72) 強明者 | 唐明 | 正包

稲沢守芝町(番地)三菱蔵母株式会社稲沢

발발주미

(14)代理人 中理上 富歌 宿一

(54)【角明の名称】 エンベーター出入回接議

(57)【要約】

口装置を得る。

【構成】 出入口(4)の際体(5)に隙間を形成し出入口 (4)を開闢する戸(6)と、戸(6)の開閉方向に治う縁部に 沿って戸(6)の戸当り満済りが戸袋満済りよりも枠体(5)。 から離れ、開閉経路に対して減いた傾斜速煙板(15)を設 ける。また、陸体(5)の顧許透増板(15)に対向した縁部 に沿い戸(6)の全開時に傾斜速境板(15)に接する接触板 (17)を設ける。また、戸(6)の戸袋瑞安りの開閉を向に 道交した道交禄郎に治って道交渡婦板(12)を設け、戸 (6)の全開時に称作(5)の験部外側に接するように鑑賞す る。そして、傾斜透煙板(18)及び真空煙煙板(12)を介し て経体(5) 上草(3) 3原間を開答する。

【効果】 一切号に構設できッない費用で製造できる護剤 により、建物代理的に出てのの時における金融作用を得 **5**.

53 13

> "出人口 4

5 杉 体 5.7

12 : 道交边短板

15 : 傾斜边煙圾

17 :特粒版

整体(日本国特許学

一【特許請求二亞運】。

【請求項:】 エンバーターの出入口を構設する存体 といるに経治の流量に限備を形成して対面して配置され れ、上記と置に合う方向に移動して上記出入三を開閉す 名牌と、このはの開門方面に治る縁頭に治って設ける私 上記呼の序台の場合のと呼吸曲等のよりも上記存体から 離れ、上記戶の開閉経路に対して傾いて配置された傾斜 遺煙板と、比記が作の日記域影響機関に対向した縁部に 治って設けられを関時の上記中の严治し消費のが戸袋期 寄りよりも三起河は接近して配置されて出起戸の全開時。 に上記憶部避煙板に接てる接触板と、上記河の中後端哥 りの上起開院市向に直交した重で縁罪に沿って設けられ て上記辞は側に張り出して配置され、上記戸の金開時に 上記枠体の上記直交縁部に対向した緑単外側に接する道 交流運搬とを構えたエレベーター出入口装置。

【請求項金】 エンベーターの出入口を構成する枠体 と、この枠はのご面に隙間を形成して対面して配置さ れ、上記立面に占う方向に移動して上記出入口を開閉す る声と、この声の関係方向に沿り縁起に沿って設けられ 上記者の声音に描載りか严畏消費のよりも上記時候から、20~ 離れ、上記点の開閉経路に対して傾いて配置された傾斜 避煙板と、と延ね体のと配傾お透煙板に対向した縁部に 沿って設けられる開時の上記事のデュニ病所のか戸袋溝 寄りよりも上記草に接近して配置されて上記草の心閉時 に上記傾斜遮煙板に接近する接触成と、上記声の声袋溝 寄りのと記唱問で向に夏交して夏交後部に治って設ける れて上記指は側に扱う出して配置され、上記声の全開時 に上記辞後の日記真で練聞に対明した練聞作劇に接近す 名道交速機械と、比記機能速幅板及び接触成の両者の一 方に装着されてと記字の金閣時に上記両者に挟石される。30 可維性不應材製工機能遞標材、並びに比距慮反逐構成及 が極体の上記道で縁部に対向した縁部四側の双方の一方 に装着されて上記声の全開時に上記双方の間に共用され る可能性も燃材製の重要連種材の少なくとも一方とを復 えたエレベーター出入口装置。

【発明の終帯な説明】

[00001]

【産業との利用分野】この発明は、遺煙手段を中衛のに 構成したエレベーター出入口装置に関する。

[0 0 0 0 2]

【従来の技術】図では、乗鳴に設けられた従来のエレベ ーター出入に決議を示すエンベーター条項の機断平面図 である。河において、 シはエンベーターの卑異語、心に は異複踏りには設けられたエンベーターのかご。 3 は昇 路路の は構立した出入立にいた設けられた負標。 別は 出入口は「京禄国を構成する特徴」 - は無引き押からな シ 総依 き 7 元前を7間に発情を形成して対面して配置 され、物体 アンス単に合うが明に、すなわる、大学を 周に差しに受ける内に移動して出り口() を開発する 当、は、は長根(このみは固に逆いに難じてに設された。例とされてけると情味に関節連権政に接続する接触収と、中

住。これは住て、今祖至郡に設けられて東海は、を囲む歴 煙シー・ダーである。

。【6.4.6.3】 能用之工业物研究社會模擬機は克羅拉拿向 正確或され、エンバーターが設定された組存に収集が推っ ましたときに性情シーノターへから難して原理(3)を囲い、退力では進いでは発酵(1) から減出した権力が進坊に広がったりしないようになっ ている。なお、エレベーダー出入工装置の戸(6)は一般 に担依 5 とこ間に限備が構成される引き声が設けられ 10 る。このため、運物の初現時には単一部と辞儀(5)の隙間 から種の小足媒語 1 内に侵入して進物の他の際に煙り が減量して関連が密かることが考えられる。しかし、引 き声も設けられた出入口(4)においてこのような災害の 症が消を防ぐことは返離であって、図しに示す臭うなエ レベーター負導装置が設けられる。

[0004]

【発用が軽洗しようとする課題】 上記のような従来の工 シスーマー上では設置では、適力に火災が発生したとき に遺煙シャッマー く ガス違し 丁乗場(3)を囲う構成であ るため、構造費が選手、また建資構造への関約が生じて 乗場(3) ていニススを通信にも支護を及ぼし、また、英観 が損なわれるという問題点があった。

【(0.9 0.5】 この発明は、かから問題点を解消するため になざれたものである。河間には遺煙手段が設けられた 二、ベーマー士人(装置を得ることを狙的上する。

[0005] .

【課題を報告するための手段】にの発明の請求項:記載 の発明に係るエンベーター出入口装置においては、エレ ベーマーの出入口を構成する特体のご面に隙間を形成し、 で対面して配置され、で国に沿う方向に移動して出入コ を開稿するほど、この母の爛開与向に沿う縁部に沿って 設けられずの単当の遺跡のが戸袋港路のよりも経体から 難が、声の間間高路に対して傾いて配置された傾斜遮煙 板上、経体の傾斜透煙板に対向した緑部に沿って設けら れ全開時の点の声当り増寄りか戸袋掲寄りよりも戸に接 近して配置されて中の全間時に傾斜遮煙板に接する接触 板上、井工卓装演者から開閉で向に直交した直交縁部に 治って設けられて特体側に張り出して配置され、戸の全 特時に停体の三距道交縁部に対向した縁部外側に接する 初一直交通権权とも設けられる。

【0.007】また、この発明の請求項目記載の発明に係 るエレベーター出入口装置においては、エレベーターの 出入口を構成する48.65の之面に攻隅を形成して対面して 配置され、三面に至う方向に移動して出入口を開閉する 声と、この母の質問を向に治さ味部に治って設けられ戸 の声信に清晰、かぜ復済委りよりも特殊から離れ、声の 情間に話になって頃いて配置された頃部で増収と、存住 の一部記憶を改に対揮した諸面に合って設けるお金牌時の 对公司自一满路的批准资油等。实现专项汇接进位方配置

· 《安语语》(12世界至今江道交)为道文绿廊江沿地下设 一つのでは他国に扱い世にて配置され、同の金牌時に採 (14) 可是真で接近。2013年10元接近末海に接近する直交进 **通报士,域科证使代及57接租权公司基本7一与公装基金社** 、プラルを密接した延星者に共発される可能性が微砂度の 対象で連続、全立に重要で連続を受ける体の上距離で縁起 に対例した核型状態の収集の一度に調査されて呼の全層 時に日経収は近期に決定される可報性で使移製の確認理 使用の少なくとも一方とが設けられる。 [0000]

【作用】と記りように構成されたこの発明の講求項(記 載い発明によるエンバーター当入に装置は存体と呼ぶ端 間が、保持の機関方向に合う験部において傾斜逻権反及 び接触板の両着の接触により、実際、存体の開閉方向に 直交した検索において直交速性板及び操体の値交縁部の 双方の複響により開選される。

【0009】 美性、上記のように構成されたこの発明の 請求項金記載の発明によるエンベーター出入口装置は枠 体上呼の隔間が、控体の開閉方向に治う検部において通 斜近煙板及び接触板の両着の接触により、また、静体の一切 開稿方向に道交した縁部において道交速煙板及び枠体の 直交縁起の何子の接近によって問題される。また傾斜地 煙板及び接触板の調達の一方に装置されて与り全開時に 上記頃者に決立される可能性で意材費の傾斜速煙材、並 びに直で速値板及び静能の上記道交線部に対同した線部 外側のマグルーダに装置されてヨウ全開時に上記収力の 間に接位される可能性で物材製の進交遷煙材の少なくと も一方を全して開催される。

[0010]

【実施例】

異徳國:、図!~図4はこの発明の一裏海側を示す図 で、図:はエンベーター出入口装置の正面図、図では図 1のA-A根断原因、図3は図:のB-B稗断原図、図 4 は図(ので一〇線断囲図である。各図において、()) はエレベーターの昇降路、(3)は尾降路(1)に閉口した出 入口(4)で(数けられ)と乗場。(5)(は出入口(4)の練部を構 成する枠はて、単隘路(1)側の積縮が外側に屈折された 縁起(51)、縁起(51)。2代側がさらに屈折された代縁記(5 2)、出入口(4)の上級記を形成する上陸(53)が構成され ている。 (6)は満引き与からなり持体(かのと面との間に、か 図3及び図4に示す機構のをを形成し44位(お)に対面し て配置され、特殊(5)の立道に治う方向に、すなわち、 水平原向に草()。仁度は原可に移動して出入口()科を機構 する時、「おりは中ゥ・シー性・海ធ、行かは中ゥ)の年後 海浦園、 1995年19日の京道福価である。 9月1年 - 瀬が赤 なら(10)、ナット (1)により子袋側内面がはに表げる れ、何賀郡浩道(2)上海東京)の南田を日本の周辺台 舞、行は、対域で色漢が行った環境等しい衛をを存する道で 虚婚校で、第三変形と考り薄積板で製作され、ボルター

開発を向き直接して配置されている。 20

【60011】 13 はラッパル上河運、下である。 (月16)の 等等,在中国出版機能以由为了政治方式。第55年以下(16) に支持できる。第二海道に原定された過剰透極模で、戸 この 聖はは最後で見され芸術される の時間の講話の で、可能時間ではりも特殊から離れ、ほうに開閉経路に **がして傾いて配置されて、弾性変形し易い障碍板で整作** されている。 17(は傾斜速煙板(15)とほぼ河が長さに製 作されて 14年 53年に固定された弾性変形し易い薄層板製 10 の設置です。44倍/3-26複計透透板(15/2)対向した線 年、すなので、上海·881に沿って設けられ金精時の声 (5)の子母、海豚のか母愛諸野でよりも声(かに接近して 産還されて呼られる金額時に傾斜環煙板:15/に接し、上 種 SD/においる期間Dを開塞する。(18)は出入口(4)の 下級正を構成する数器。(19)は戸(6)の幅にほぼ落しい 多三に関係され声。6)の下面規注(f3)に接着されて数器 (15)の構に挿入され、選手に示す中(5)の下端と敷置(1 5) と、平間日を各く下重速道板、(2)(は下重速域板(19) に高きされたほご細である。

【9.9.1.2】 出記のように構成されたエンベーター出入 日後還において、年7年の全開時には特体(5)の開開方向 に治り検査において特徴 おと声(おの際間のが、頻彩圏 煙吹(1) 及び特軸板(1) の調音の強性変形による接触に よ、閉塞される。また、捺住 おの開閉方向に道文した 縁郎において存体(5) と声(5)の隙間ひが、直で遮煙板(1 DIRTOPA(15)、JIM報道(52)の双方の接種により開選さ れる。さらに、三(か)以下溝と敷居(18)との機間日が下 **東連増成り中によって開催される。これによって、連物** の火災時に進力内の種での早経路(いた侵入したり、昇 | 隆路(1) から河出した煙りが建物に広がったりすること を防ぐことができる。そして、遺孀シャッター(S)が不 要であって腐易に構成でき少ない食用で速煙作用を得る ことができる。また、建築構造への制約がなく高い自田 度で乗用(3)スペースを利用することができ、美麗が損 なわれるという問題も解消される。

【0:01:3】また、出入口(4)核節と戸(6)の機関が開塞 きれらので、乗将(3)に任わるエレベーター度置の運転 音を少なくすることができ、また、かこだけの昇降だよ って保護路(1)に生じる高速気流が出入口(2)縁部と戸 (5) の強調で通過するときの吹鳴音の発生を少なくする ことができる。さらに、非路路は1/内外に気圧差が生じ ■ (A) (2個位か作用して戸(B) 2個問動作の関係となるこ とかある。しかし、このようなときに出入口(4)検部と ¹⁹つい深間が開客されていることは経路(1)における煙 現得場が少なくなり、海路路で、有外の衛圧運が小金で なってほう() には男する機能が減少し() ほほ() 心臓問動作 こ確保発生を防ぐことができる。

【ロウエキ】真猫剛立、図を及び図りはこの発明の他の 3)、ディング、江美の河流色界(北江崎道でおて1908年)別(近次20年間日間である。河中、図(四周年に河流导は相

当部分を示し、(21)に進交理循板(12)及び停体(5)の戸 (6)開閉方向に対する真交像回に対向した年級部"825万 双方の一句に異者されて呼られる問時に上記双方の間 に挟生される可能性の性が製の変交遷発射で、セラミッ グファイバー等により直交遭遭攻(12)とほぼ等しい長さ に関係されている。(2)は傾斜透衝板(15)及び接触板(1 7)の両者の一方に装置されて戸(5)の金間時に上記両者 に挟圧される可能を下燃材製の傾斜遮煙材で、モラミッ クファイバー等により傾斜速煙板(15)とほぼ下しい長さ に関作されている。

【0015】この復施部においても、戸(3)の全間時に は枠体(5)の開開方向に治う縁部において枠体(5)と声 (6)の隙間口が、減許適種板(15)及び接触板(17)の両者 の弾性変形によって傾斜透煙材でDが採定されて開落さ れる。また、操体(5)の開閉方向に選択した縁部におい て棒体(5)と声(6)の薬間()が、直交通境板(12)及び棒体 (5)の外級部(51)のママの接近によって選交通権経(22) が挟圧されて開発される。さらに、声(6)の下溝と教器 (13) との隙間已が下記送煙板(19) によって間磨される。 でも図し〜図4の写迹例と関係な作用が得られることは 明白である。

【0016】また、到3、図6の復殖例において、重交 遺憾が(21)、異許遺憾が(22)が決定されて特殊(3)と呼 (6)の隙間目が開催されるので開発時の気密性を向上す ることができる。また。戸(B)の前間動作時の S決な声 当り経済が少なくなり声(の)動作を静々化することがで きる、

【0017】また、図1~図4の実施例、図5、図6の ができ、エレベーターのかごにおいて、図1~図4の実 施例、図3、図6の実施例と関係な供用が得られること は明白である。また、図1~図4の実施例、図5、図6 の実施例を上下に開閉動作する上下引き戸に容易に応用 することができ、上下引き戸において、図1~図4の選 施例、図3、図3の電施例と関係な作用が得られること は明白である。

100181

【発明の効果】以上説明したようにこの発明の講求項! 立面に離開を形成して対面して配置され、立面に沿う方 向に移動して出入口を開閉する声と、この戸の開閉を河 は治う縁部に治って設けられ事の呼ばら隣をらが戸袋牌 。 ありよりも抑制がり離れ、戸の開閉を路に対して低いて 配置された傾斜使情報と、機能の傾斜性病板に対向した 練部に治って政治の共主関的に対為77年の開発。1977後 講演のようもうに接近して起席されて『の登博的に観路 運輸改工技術を接触改士、対応が表示するい関係を申に 直でした女で株部に合って扱いられてやは何に語り出し **て配置され、サルを開発に終出る出記点を後回に対明し、50**

【6 9": 4】 これでよってご言の開間が経体の開閉方向 に治う経過において資料性煙板及び接触収の両者の接触 により、また、存住の開閉を向に展定した検索において、この

土域選集団に接ても重定連構板とを設けたものである。

旗文団領成及び特性に直交統団の以方の接触により開選(ニュー される。じたがらて、進物の火災時の出入口の戸におけ る適信作用を、関与に構設でき少ない使用で製作できる 護費により復用する効果がある。

【りりょり】また。この発明の請求項と記載の発明は、

エレバーターの出入口を構物する特体の企画に限期を形 我して対面して配費され、立置に治う方向に移動して出 入口を開想する学と、この序の開閉が向に治う縁頭に治 って設けられ早の平当の消費のが戸後端端のよりも操体 から離れ、ヨの神間経路に対して傾いて配置された傾斜 適種校と、操体の価値透透板に対向した練品に迫って設 けられる情時の声の声当り消費りが可俊調節りよりも声 に接近して配置されて用の全開時に傾斜遮槽板に接近す る接種板と、市の市袋諸等のの開閉を向に直交した真交 縁部に迫って設けられて経済側に張り出して配置され、 したがって、詳細な説明を資路するがこの実施例におい。

20 東の金精物に作出の上記真で縁部に対向した縁尾外側に 接近する直交遭領权と、維維連維权及び接触权の両者の - 方に接続されて呼び金牌時に上記両者に採座される可 換性 医体积器 心境非透谱时, 並びに直交速槽板及び枠体 の上記真交锋団に対向した縁団外側の双方の一方に接着 されて芦の金幣時に比超双方の間に挟用される可換性下 燃材製の直で連続材の少なくとも一方とを設けたもので

【0.02.1】 これによって、整体と呼ば離間が、整体の 開閉寺向に台では正において無許遮痺氏及び接触板の画 実施例をエンベーターのかごの戸に容易に応用すること 30 者の接近により、また、特性の開榜方向に直交した縁部 において直交団領市及び操作の直交縁部の双方の接近に よって開窓される。また傾斜遮煙板及び接触板の両番の 一方に接着されて亨の全開時に上記両者に挟圧される可 操性不燃材製の維許透煙材、並びに直交透煙板及び停体 の上記道交縁部に対向した縁部外側の双方の一方に装着 されて中の全開時に上記双方の間に狭隘される可提性下 燃材製の直交迷煙村の少なくとも一方を介して開露され る。したがって、進物の火災時の出入口の戸における適 煙作用を、簡写に構物でき少ない費用で製作できる装置 組載の発明は、エンベーターの出入口を構成する機能の「初」により実現する効果がある。さらに、直交速煙柱、頻酔 避煙 付の少なくとも一方が狭隘されて枠体と同の隙間 D が開催されるので開催時の気密性を向上することができ る。また、甲の甲替助作時の五族な甲門の種語が少なく ない可動化を作す化する効果がある。

【四重の原用な説明】

【図1】この発明の基施例(を食用工)なって一切入口 復置し 自創日

(M2) MICH ARMEN

【(4:1] (4:1) (1:14] [(1:14]]

【14日】 图1日日 一个根据金统。

【図3】この発明の発施例で表示す図3相当図。

【図6】図5の度度同じおける図(相方図、

【図7】 従来のエンバーター出入口表面を示すエレバー ター乗場の鉄手 英語24。

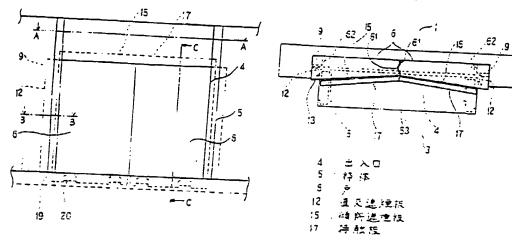
【符号の説明】

4 出入口 5 操体

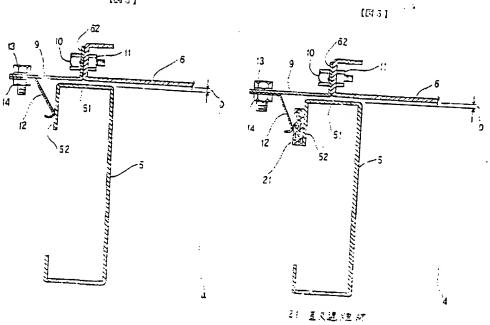
。1,2、直接透過機 🛶

[2]2]

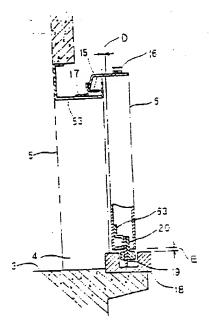
[31]



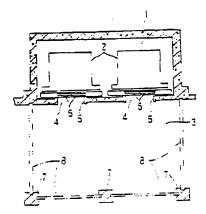
[Ed 3]







(B7)



[33]

